

阿見新報

日本共産党
阿見町委員会
永井よしかず
鈴木57-7
887-4544
携帯 090-8502-3590

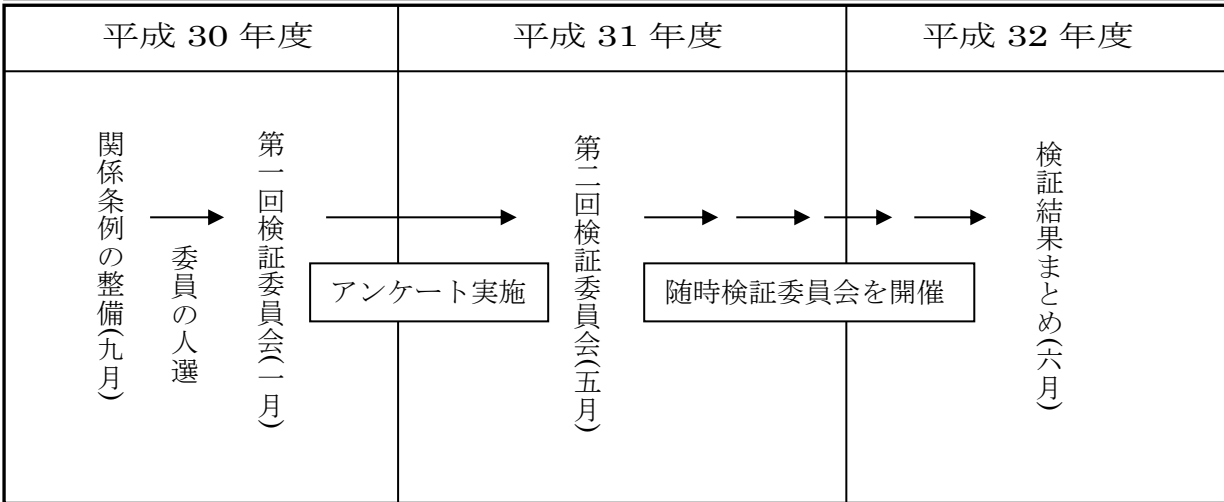
細田 正幸
上条 1486
889-1474
ご購読を
日本共産党
しんぶん
赤旗
〒紙
月3,497円
印刷版
月 823円

道の駅凍結・再検討について…道の駅整備事業検証委員会が設置

先の町長選でも最大の焦点となった道の駅構想。8月30日に政策秘書課では「道の駅整備事業検証委員会」を設置することを発表しました。今回の9月議会に、関係条例と補正予算が計上され可決されました。期間は下図の通り平成32年度までで、数回の検証委員会を経て検証結果をまとめるものです。委員は学識経験者、会計、建築技師、観光・金融関係等の10名以内で構成し、以前の検討委員会のメンバーも加わってもらう予定です。

検証対象は場所、整備時期、建設費、運営体制の4つの項目を基本に検証を行う予定です。

来年度に中間報告として議会で説明がなされます。また、検証委員会の議事録も町のホームページに掲載されますので、適宜閲覧することができます。どのような結果になるかわかりませんが、しっかり検証を見守りましょう。



平成三〇年

九月議会報告

一般質問 永井よしかず議員

《質問事項》

東海第二原発の避難計画について



原子力規制委員
会では9月26日、
東海第二原発につ
いて再稼働に必要
な新規基準に適
合するとの審査書
を正式決定しました。

東海第二原発は今年の11月で運
転期限が40年を迎える老朽原発で、
東日本大震災で被災した原発では新
規制基準に適合したのは初めてです。
新規基準に適合するといっても、
その避難計画の策定は進んでいませ
ん。今回はそのことについて一般質
問を行いました。

国では、都道府県及び市町村に対
し、防災基本計画及び原子力災害対
策指針に基づく地域防災計画を作成
することを求めています。茨城県で
は、その広域避難計画の策定が義務
付けられる「東海第二原発から30キ
ロ圏内の14市町村」は、約96万人の
人が住む国内でも最大の人口密集地
域となっています。

この阿見町では、ひたちなか市の
住民を受け入れることになっていま
すが、その詳細と今後の対応につい
て伺います。

《質問に対する回答》

ひたちなか市の約14万3千人の
市民が、阿見町を含む茨城県内の14
市町村や、千葉県内の市町村へ避難
する計画であり、町ではひたちなか
市民約4千人を受け入れる内容です。
ひたちなか市とは、今年の3月29
日に、広域避難に関する協定を締結
しており、引き続き避難所選定や運
営体制、物資の確保等について協議
を進め、広域避難者の受け入れマニ
ユアル等の策定について検討してま
いります。

この後の答弁で、7957人の避
難予定者が18か所の避難所に入る
計画となっており、1か所約400
人強が体育館等に避難する計算にな
ります。また、1人の避難スペース
が2㎡(畳1畳分)しかなく、避難先で
の居住スペースが足りません。

「スファイア基準」という国際的な
避難所の基準があります。そこには、

下記のとおり議会報告会を開催
します。多くの町民の方のご参加を
お待ちしております。

記

日時：10月21日(日)
午後2時～4時

場所：中央公民館
1階 多目的室
参加費は無料です

多くの方のご参加をお待ちして
おります。

日本共産党阿見町委員会

避難者 1 人に対しての居住空間を 3.5㎡と定め、またトイレも 20 人に 1 つの割合で設置することを謳っています。また、トイレの男女比では男性 1 に対して女性は 3 が必要です。トイレを我慢するために水分を控えじつとしていけると、血液粘度が上昇し、脳梗塞や心筋梗塞になりやすくなります。

災害を生きのびた後に身を寄せ避難所で、命を落とすという深刻な現実。まさに、そのような事態を防ぐために作られたのが「スファイア基準」なのです。

次に避難計画での移動手段ですが、マイカーやバスが基本となっています。バスは 50 人乗りとして 1 千台をかき集めても、一度に運べるのが 5 万人程度です。マイカーでの避難者による渋滞も予想されるので、避難元と避難先へのバスの往復は難しいこととなります。

今回、30 キロ圏内の 14 市町村では、避難計画がなかなか策定できません。そのため、避難先での避難計画もなかなか具体的になりません。

この避難計画を策定すること自体が「机上の空論」だということがわかります。

最後に、町長に現実的な避難計画は東海第二原発を再稼働させないことではないでしょうか」と質問をしたら、町長は「安全性の担保ができない限りは再稼働はしない方がいいのでは、と思っています」と答弁しました。

《質問事項》

阿見町の待機児童について

阿見町の待機児童がなかなか減少しません。昨年的一般質問の答弁では平成 30 年 4 月 1 日開設の保育園をもつて待機児童が解消されるものと考えております」との答弁でした。しかし、県の資料では平成 30 年 4 月 1 日現在で阿見町は 41 名の待機児童数となっています。新しい保育園が開園したが、そのことで待機児童が解消されなかった要因と、阿見町での待機児童解消の施策を伺います。

《質問に対する回答》

要因としては、保育園の新規開設が保育需要を喚起し、入所希望者の増加につながったと考えられます。解消の施策としては、第 2 期子ども・子育て支援事業計画でニーズ調査を実施し、新規保育施設の開設も含め検討してまいります。



9 月 22 日に行われた阿見小学校の運動会、これは 3 団対抗の大玉ころがしの様子です。赤組、白組、青組に分かれて競技が行われました。

前日が雨模様だったので、開催が心配されましたが、子どもたちは元気よく行っていました。



右の写真は 9 月 8 日に行われた阿見中学校の体育祭の一場面です。→

君原小・阿見第二小に冷房の設置が決まる

今年の夏の暑さから、子どもたちの学習環境を考え、議会として 7 月 31 日に上記小学校への冷房設備設置の要望を出しました。9 月 28 日の議会最終日の全員協議会で、教育委員会より君原小 7 教室、第二小 8 教室の冷房が設置されるとの回答が出されました。来年 4 月より使用できるようです。

沖縄県知事選 玉城デニーさんが勝利！

名護市辺野古の米軍新基地建設を最大の争点として行われた沖縄県知事選挙。故翁長知事の遺志を受け継ぎ、新基地建設反対を掲げてきた玉城デニーさんが初当選しました。自公推薦の佐喜真氏に 8 万票余りの大差をつけての圧勝でした。

自民党の菅官房長官や小泉進次郎氏などは何回も沖縄入りし、また公明党・創価学会も総動員して、徹底した組織戦を展開しましたが、「辺野古に新基地は造らせない」という沖縄県民の民意が示された、歴史的な勝利でした。



日本共産党町議会議員

永井よしかずの「議会よもやま話し」

この 9 月議会より、阿見町議会主催の「議会報告会」が行われます。9 月の決算審議と 3 月の予算審議を中心に、年 2 回行われる予定です。

第一回目は、11 月 11 日の日曜日、午前 10 時～12 時までは中央公民館、午後 3 時～5 時までが本郷ふれあいセンターにて行われます。内容はどちらも同様ですので、お近くの方に参加ください。

事前の申し込みは不要ですので、お気軽にお越し下さい。

議会報告会運営委員会

